



アイバンクは皆さんの善意で支えられています

# アイ愛



東北大学アイバンクだより

Vol.2

## 「アイ愛」INDEX

- 眼科・学 / 横倉 俊二 (東北大学アイバンク理事・東北大学眼科助教)
- 特集・アイ愛インタビュー / 宮城県のアイバンク事情 西田 幸二 (東北大学アイバンク理事長)
- わたしとアイバンク / 佐藤 やえ子さん
- 献眼者のご遺族から / 赤城 真理さん
- 第1回東北大学アイバンクセミナー開催

(財)東北大学アイバンクだより「アイ愛」Vol.2  
 ●発行日/平成22年1月31日 ●発行/印刷法人 東北大学アイバンク 〒980-8574 仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内  
 (財)東北大学アイバンクだより「アイ愛」は、アイバンクの普及拡大を目的に発行されています。TEL:022-728-3677 / FAX:022-717-7298



# あなたの勇気と行動で 光を取り戻す人がいます

角膜がたいへん不足しています！  
アイバンクへのご登録をお願いいたします

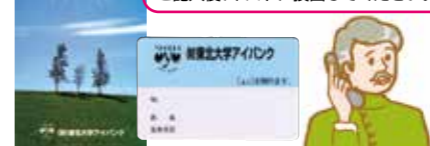
## 献眼登録・献眼の手続きについて



**1 ご家族との話し合い**  
 登録する前に、ご家族としっかり話し合いましょう。ご家族には十分に意思確認を行った上、同意を得てください。

## 2 登録の手続き

登録はお電話のほか、ハガキでも可能です。専用リーフレットに登録申し込み用のハガキがあります。ご記入後、ポストに投函してください。



登録後、東北大学アイバンクより証明用のカードを発行します。登録カードはなくさないように工夫してください。運転免許証などと合わせて、いつも持ち歩くことをおすすめします。臓器提供意思表示カードをお持ちの方でも、スムーズかつ確実に提供いただくため、アイバンクへのご登録をお願いします。



**3 わからないことがあれば、いつでもお電話を！**

## 4 献眼の手続き

登録者がお亡くなりになって24時間以内にご献眼いただく必要があります。なるべくお早めにお電話を。アイバンクに未登録の方でも本人の意思、またはご家族の同意があれば献眼できます。

※眼球保護のため、まぶたを閉じ、湿ったガーゼかタオルでまぶたの上を被ってください。目を開いたままでは移植に必要な角膜部分が乾燥してしまいます。夏季は6時間以内、冬季は10時間以内に摘出することが望ましいとされています。

※献眼後は、義眼をお入れしますので、ご安心ください。



アイバンクは皆さんの善意で支えられています

## 財団法人 東北大学アイバンク

東北大学アイバンク  
24時間ホットライン

24時間夜間休日でもOK!

# 022-728-3677

仙台市青葉区星陵町1-1 東北大学医学部眼科学教室内

★東北大学アイバンクが発行する各リーフレットは、協力病院・協力医院に設置のほか、ご希望の方には発送も行っております。お気軽にお問い合わせください。  
 ★角膜提供以外に関するお問い合わせは9:00~17:00までお願いいたします。

## 協力会員募集

●アイバンクへの寄付にご協力をお願いいたします。

東北大学アイバンクでは、年会費1口1,000円(寄付)の協力会員を随時募集しております。

下記の「払込取扱票」にて最寄りの郵便局より寄付をお願いいたします。匿名希望の方以外の会員名を「東北大学アイバンクだより」及び「東北大学医学部眼科学教室」のホームページに掲載させていただきます。みなさまのあたたかいご協力をお待ちしております。

昭和43年の東北大学アイバンク設立から現在までの角膜提供登録者数の累計は9061人。実登録者数は1257人。全国各地にあるアイバンクの中でも、宮城県は少ないのが現状です。

# 東北大学アイバンク設立の歴史

## 宮城県のアイバンク事情

眼科・学

特集 ● アイ愛 インタビュー



お振込みは右記の用紙にて最寄りの郵便局よりお願いいたします。

02 仙台		払込取扱票				通常払込料金加入者負担			
口座記号番号						金額			
0 2 2 1 0 2						1 7 2 7 1			
財団法人 東北大学アイバンク						備考			
加入者名 ※ 通 信 欄 ◎年会費(寄付)は1口1,000円です。申込口数、ご住所、お名前をご記入の上、お振込みください。 1,000円× 口 = 円 ◎また、氏名の公表に関しましては、どちらか一方の□に✓をつけてください。印のないものにつきましては、公表いたしませんのでご了承ください。 会報・ホームページへ氏名を公表することに <input type="checkbox"/> 同意する <input type="checkbox"/> 同意しない						ご依頼人			
おとこ (郵便番号)						おなまえ			
おなまえ						日附印			
裏面の注意事項をお読みください。(ゆうちょ銀行) (承認番号 仙第9821号) これより下部には何も記入しないでください。									

## 振替払込請求書兼受領証

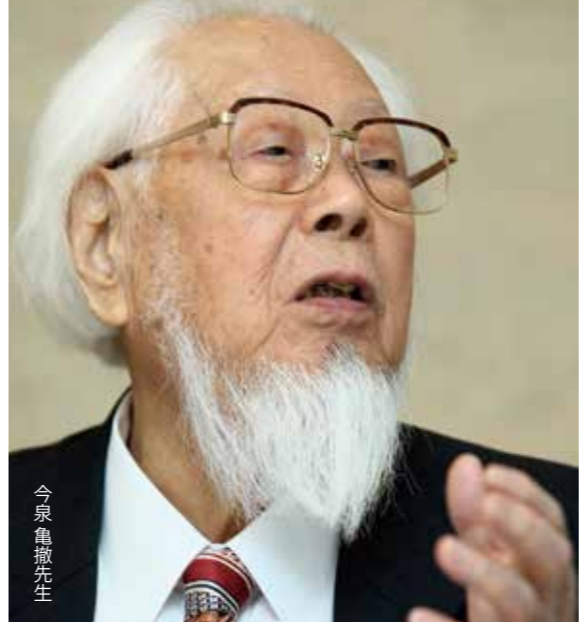
0 2 2 1 0 2						1 7 2 7 1			
財団法人 東北大学アイバンク						金額			
おなまえ						備考			
ご依頼人						日附印			
料金						備考			

# 東北大学 アイバンク設立の歴史

アイバンクは、生前に角膜提供の御意思を表明されていた方の死後（心臓死または脳死）に摘出された角膜を、角膜移植手術が可能な施設にあっせんするための非営利団体で、現在日本国内では各都道府県に、少なくとも一つおかれていますが（現在は54団体）。

## 世界のアイバンクの歴史

腫瘍等やむをえず摘出された眼球からの角膜移植術（生体からの角膜移植は1905年（明治39年）にツイルムらによって最初の成功例が報告されています。その後現在の形式である、死後にご提供いただいた角膜を用いた角膜移植術は、1930年代にフィラトウらが始めて以降、欧米でまず盛んに行われるようになりました。これに伴い、世界で初めてのアイバンクが1944年（昭和19年）4月に米国のニューヨークに発足し、角膜提供の意思表示者の登録と、登録者から提供いただいた角膜のあっせんを行うようになりました。同様の組織は米国内各地に設立され、更に欧州各国にも設立されるようになってまいりました。



今泉亀撤先生

## 日本のアイバンクの歴史 （いわゆる「盛岡事件」を含めて）

わが国では岩手医大教授（当時）の今泉亀撤先生らが主導されて、主に第2次大戦後から角膜移植術が行われるようになってまいりました。しかしながら当時のわが国には角膜移植に関する法律が存在せず、死体から眼球を取り出すという行為が刑法第190条（死体損壊罪）に該当する可能性がありました。このため腫瘍等やむを得ない事情で摘出された眼球から、ないしは篤志家による献体（医学部の解剖学の授業のためなど）の際に、

り、欧米では比較的早期に医療として定着するに至りました。



ツイルム



フィラトウの診療風景



今泉亀撤先生の手術風景

まいりました。

あくる1957年（昭和32年）、「眼の銀行」登録者の方1名が亡くなられたため、今泉先生はこの方の角膜を用いて角膜移植術を行うこととされました。しかしこのことを聞きつけた各報道機関の人々が今泉先生の元に殺到する事態となりました。今泉先生の強い要請により、報道は行わないとする約束を取り交わされましたが、ある1社が約束を無視して、「早すぎた角膜移植—角膜移植立法化前の手術—刑法190条に触れるか」とのタイトルで報道を強行するに至り、事件に強い関心を持った最高検察庁の指示により、今泉先生は盛岡地方検察庁の事情聴取を受けるに至ってしまいました。幸いにして最高検より「法的には問題はあるとしても、社会性に富んだ正当医療行為で、且つ医師として全く崇高な行為であるから、道徳的、人道的にみて犯罪の成立を認めない」とする見解が出され、死体からの角膜移植術の正当性が認定されましたが、法律の整備が急務の課題として浮かび上がりました。

同年12月、角膜移植に関する法案が再度国会に提出され翌1958年（昭和33年）4月4日に「角膜移植法」が成立しました。しかしこの法律では角膜の提供を希望された人と、角膜の移植手術を希望される人が同じ施設にいないければ手術ができない、すなわ

ち提供があった角膜を他の施設での手術に使うことができない（角膜のあっせんができない）という大きな不備がありました。この点を解消すべく、厚生省（当時）が「角膜幹旋業者許可基準」を発表し、これに基づいて慶応大学、順天堂大学などにアイバンクが作られるようになり、公式に角膜のあっせんも可能となりました。

更に各アイバンクの活動を支援し、献体の全国的な普及啓発事業を推進する目的で、1965年（昭和40年）に「日本眼球銀行協会」が設立され、これが現在の「日本アイバンク協会」となっております。

## 東北大学アイバンク

東北大学アイバンクは1968年（昭和43年）にライオンスクラブ、ロータリークラブ、仙台青年会議所、宮城県医師会、仙台市医師会、宮城県眼科医会の御支援により誕生し、現在までに県内から約435名の献眼をいただいております。角膜移植術が普及している現在においても、宮城県内では依然として角膜移植を待つ患者様が角膜の提供数を上回る状態が続いております。この不均衡を是正すべく、今後も市民のみならずまなびに病院関係者の方への普及啓発活動、ならびにあっせん活動に力を入れて参る所存です。

東北大学アイバンクは非営利団体であ

御遺族の同意をいただいで摘出された眼球を用いるという方法はありませんでした。

1950年（昭和25年）ごろから角膜移植術は岩手県の新聞などで少しずつ報道されるようになりましたが、人道的な「開眼手術」である角膜移植術に対して、世間の反応は概ね温かいものでした。このため、今泉先生は更に多くの患者を失明から救いたいとの思いから、1956年（昭和31年）に岩手医大に非公式に「眼の銀行」（現在の岩手医大眼球銀行）を設立され、10数名の方の登録を得ました。同年11月には厚生省（現在の厚生労働省）の主導により、角膜移植に関する法案が提出され、角膜移植をめぐる超法規的な状況は解消されるかに思われましたが、審議未了でこの年は残念ながら廃案になってし

り、活動費は角膜をあっせんすることで病院から得られる手数料と、みなさまの善意の寄付によるのみ成り立っておりますが、昨今の景気低迷もあり、活動に必要な最低限の資金（年間約500万円程度）を確保するのも毎年精一杯の状況です。

角膜移植を待ち望む患者様を失明の恐怖からお救いするためにも、是非とも多くのみなさまのご支援を何卒宜しくお願い申し上げます。

文／東北大学アイバンク理事  
東北大学眼科助教 横倉俊二



今泉亀撤先生と東北大学アイバンク 西田理事長

# 宮城県のアイバンク事情 〜角膜提供を希望される方へ〜

## アイバンクQ&A

献眼に関するよくある質問をまとめました。

財団法人東北大学アイバンク理事長・東北大学眼科教授 西田幸二

### Q1 アイバンクとは、何をすることですか？

**A** 亡くなられた方から眼球の提供を受け、安全性を確認したうえで、光を失った、角膜を必要としている患者さんに公平にあつせんする公的機関です。その活動内容は、啓発活動、献眼登録、眼球の摘出、ドナーの血液および眼球の検査、角膜の保存、移植希望者の登録、記録など多岐にわたります。アイバンクは厚生労働大臣の「眼球あつせん業」という許可により運営を許され、各都道府県において54団体がアイバンク活動をしています。宮城県の場合は「財団法人東北大学アイバンク」がカバーしています。

### Q2 アイバンクに献眼するには？

**A** 最寄りのアイバンクで献眼登録を行うことができます。お名前とご住所をご連絡いただければと思います。アイバンクから眼球提供申込書を送りいたしますので、必要事項をご記入のうえご返送ください。手続きは完了です。登録完了後アイバンクから登録

証が送られてきますので、携帯してください。加えて、一人でも多くのご家族、ご親戚の方にその意思をお話ししていただければと思います。万が一の際には、ご家族は悲嘆にくれ、なかなかアイバンクのことを思い出せないものです。ご家族からのご連絡をいただくことが、みなさまの意思をいかにするには必要です。アイバンクにご連絡をいただければ、アイバンクが対応させていただきます。ご提供いただくための処置には約1時間程かかりります。ご自宅でも、病院でもご提供いただけます。ご提供いただいた角膜を適正に評価し、待機患者様にお届けしています。両眼のご提供をいただいた場合には、お二人の患者様に移植されます。

### Q3 どのような方が献眼できますか？

**A** 角膜の場合、年齢制限はありません。乱視・近視・遠視(老眼)、白内障手術後、緑内障であっても、角膜が透明でさえあれば、ご提供が可能です。網膜などの疾患で眼のご不自由な方でも角膜は充分、移植に用いること

### Q4 登録者はどのくらいいるのでしょうか？

**A** 東北大学アイバンクでは、献眼者を増やす活動に努力をしておりますが、なお提供眼不足の問題が深刻化しています。昭和43年の東北大学アイバンク設立から現在までの登録者数の累計は9061人。実登録者数は1257人。全国各地にあるアイバンクの中でも、宮城県は少ないのが現状です。全国で角膜移植待機患者数が約4000人いるのに対し、年間に提供されて移植が行われ



たのは約1400眼。新規登録者の数は約16000人あったのに対して、東北大学アイバンクでは87人のみ。全国的に見ると1年で990名以上の献眼者がいらつしやつたにもかかわらず、東北大学アイバンクではわずか9人です。

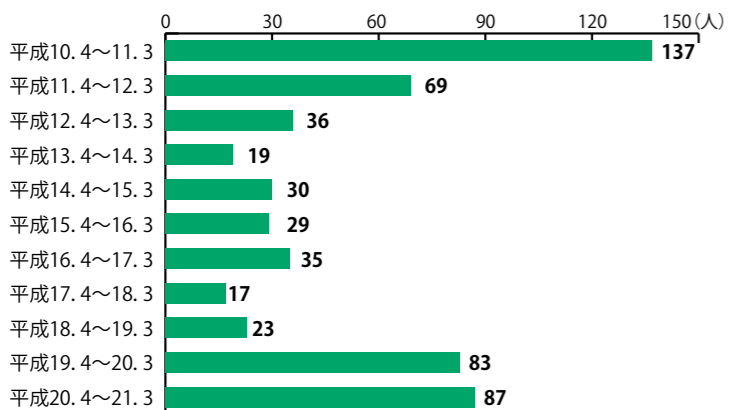
### Q5 登録者数が減るとどうなりますか？

**A** 角膜疾患をもつ目の不自由な方は、角膜移植しか回復の手段がありません。アイバンクによる角膜提供者の数が減るということは、目の不自由な方の回復のチャンスが減少するということになります。献眼に限らず、日本ではまだまだ献体などに対する抵抗感があるのかもしれませんが、臓器移植の手術数も少なく、アメリカなどに高額な手術を受けに行かなければならないといった問題も、他の臓器移植では、しばしば指摘されています。アイバンクは、角膜提供の正しい理解と健康な角膜を持つ提供者の善意、そしてご家族の協力が重要です。献眼登録をしないで、実際に献眼されないこともあり、ご意思

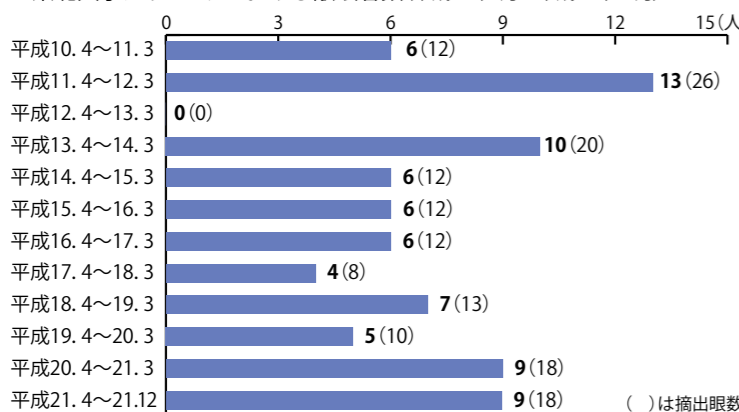


理事長 西田幸二  
財団法人東北大学アイバンク理事長・東北大学眼科教授  
大阪府生まれ、大阪大学医学部卒業後、大阪厚生年金病院、京都府立医科大学、アメリカ・シカゴ研究所、大阪大学を経て、2006年東北大学教授に就任。息の長い活動ですが、多くの方に献眼登録をしていただき、角膜移植を待つ方に再び光を取り戻していただく運動の輪を広げていきたいと思っております。

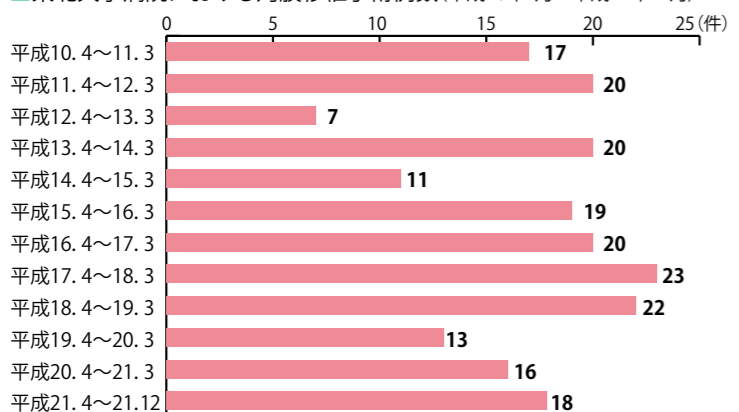
■東北大学アイバンクにおける角膜提供登録者数(平成10年4月～平成21年3月)



■東北大学アイバンクにおける献眼者数(平成10年4月～平成21年12月)



■東北大学病院における角膜移植手術例数(平成10年4月～平成21年12月)



どを行っています。東北大学アイバンクでは、提供から手術までを迅速に進めるために、ホットラインを設置して24時間体制で対応しています。また、アイバンクを知っていただき、登録者を増やす啓発活動も行っております。角膜移植を受けた方で構成する友の会設立の準備、ライオンズクラブをはじめ、地域のボランティア団体の方々からもご協力をいただき、皆さんと一緒に情報を発信し、アイバンクの活動を盛り上げていきたいと考えています。

TEL/東北大学アイバンク24時間ホットライン  
022(728)3677  
(24時間夜間休日でもOK)

# 眼の病気が見つかったから 五十年目の移植手術 待った時間が長かっただけに本当にありがたいこと



宮城県山元町にお住まいの佐藤やえ子さんは、平成十三年に角膜移植手術を受けました。

アイバンクの現状も大変よくご理解いただき、「角膜をくださった方のやさしさと思いやりに感謝でいっぱいです。私の幸せをこれから助けを必要としている方におすそ分けしてください」と、度々アイバンクにご寄付をされています。

「二人でも多くの方に光を取り戻して頂けるように何か出来たらいいなと日々思います」と話してくださいました。

## 母

は言ったそうです。「まだ若いんだし、これから先、世の中が拓けてね、あるいは治る可能性もあるんじゃないか」と…。

十五、六歳でしたかね。眼にゴロゴロとした違和感があって、眼科を訪れたときにも

うだめだから義眼を入れてはどうかと受眼者さまはおっしゃった。母はそれを拒んで、これから時代も変わるし長い人生だから断ったそうです。それでなんとか、五十年後にね、こうして角膜移植を受けることができました。

## 私

は、新制中学校の第一回目の卒業生でした。そのころからだんだん目が悪くなり、高校に入ったのですが、生活にも不自由を感じ勉強もつらくなり、そしてついにも高校も中退してしまいました。高校を中退して、それからずつと五、六年は病院に通いました。最初は、大学病院に二年ぐらいい。そのあとは、お金が続かなかつたんでしょうね。それで、田舎のほうの病院で、名のある先生に診ていただいたのですが、悪くなる一方です。そのころは、治らない病気なんだって本気で思っていたんです。

そうこうしているうちに診察で、右眼も確

実に進行している現実を知らされました。いろいろな病院に通いましたがでもみなごも診察結果は同じだったんです。五、六年は

かかったでしょうか、治ったわけではないんですが、少し良くなりました。六十年も昔のことですからね、忘れてしまっているところもあるんですが…。

生活するのに不便だったり、困ったことはありませんよ。でも八人兄弟の末っ子で、六人の兄さんと四つ上の姉さんがいる末っ子ですから、上はもう二十歳で働いていました。五人の兄は戦争に行き、五人とも無事帰ってきたんですよ。そのころは、ほんのわずかでしたが恩給がもらえたんですね。

## あ

る日、ラジオかテレビで角膜移植で目が見えるようになったという話を聞きましかつて来たようになったという話を聞きました。だけど皆目検討がつかないし、どのくらい医療費がかかるんだかどうだかわかんないから。昔は今と違って、情報が薄いですからね。そんなによくよしくないほうなんですけど、不自由しているからなんとかしたいと思っていたのですが半ばあきらめていました。

## と

ころが、平成十三年に、本当に運良く角膜移植手術を受けることができ、術後の経過もよく視力も回復すること

## 私

に角膜をくださった方には、なによりも、なににごにも代えがたいありがたい感謝の気持ちで一杯です。この経験を通して、人は一人では生きていけない、お互いに助け合い、人を思いやる心が大事だ

と思いました。

## 人

の痛みはやっぱり分らないと思うんです。でも、私は、角膜移植を受けて、明るくなった視界を実感して毎日感謝しながら暮らしています。

高齢者の方で、これから角膜移植を考えている方にも、機会を見つけては私の眼がどうやって再生されたか、どれだけくださった方々に助けていただいたのか、話すようにしています。

私の話が役に立つかわかりませんが、いただいた方への恩に報いるためにも、人のために役立つしていきたいと思えます。

TOPCON CONNECTING VISIONS

ウェーブフロントアナライザー  
**NEW KR-1W**  
医療機器製造番号：1381X000300KR1W

**1台に5つの機能を搭載!**  
(レフラクトメータ / ケラトメータ /  
角膜トポグラフィ / 波面収差測定 / 瞳孔径計測)  
**スピーディな診断をサポート!**

総代理店 株式会社トプコンメディカルジャパン  
本社 〒174-8580 東京都板橋区蒲沼町75-1 TEL.(03)5915-1800  
仙台営業所 TEL.(022)292-3009

NOVARTIS

新薬で人々のいのちと健康に貢献します。

ノバルティス ファーマは革新的な医薬品を提供し続けます。  
ひとつひとつの輝きのちを見つめながら。

ノバルティス ファーマ株式会社  
〒106-8618 東京都港区西麻布4丁目17番30号 <http://www.novartis.co.jp/>

REMICADE REMICADE REMICADE REMICADE REMICADE

抗TNFαモノクローナル抗体製剤 (医薬品)

**レミケード点滴静注用100**  
REMICADE for IV (インフュージョン用) (通眼用)

※ 効能・効果、用法・用量、警告、禁忌を含む  
使用上の注意等については、添付文書をご参照ください。

田辺三菱製薬株式会社  
2009年10月作成

Otsuka-people creating new products  
for better health worldwide

Otsuka 大塚製薬株式会社  
東京都千代田区神田司町2-9

アイ愛インタビュー●献眼者の遺族の声  
2008年6月に献眼した、享年78歳 本間雅夫さんの奥様 赤城眞理さん(ピアニスト)の声

# 伝わりつながらるこころと光 夫の意思を伝え続けます



**彼** のドナー登録の話はおよそ十年前に遡ります。それは「臓器提供意思表示カード」なんです。病院に行つたときだと思つて、「やつとカードを手に入れた」とか言つて、二枚持ち帰つてきて、一緒に登録しようよと…。

特にアイバンクという意識はなかったと思つた。ただ、心臓・肺・肝臓・腎臓・膵臓・小腸・眼球・その他全部に関して提供したいと言つて、二人でこのカードを持つたわけなんです。こういうことに関しては非常にオープンだったし、本人も教育者なので、自分が役に立てればという気持ちはすごくあつたと思つてます。

**主** 人は、作曲家でした。青森県の深浦出身で東京を中心に作曲活動をしており、一九七四年に仙台に来てからは、宮城教育大学ですと教えてました。

ドナーカードを見せられたときは、まったく抵抗がなかったですね。もともとそのつもりでいたし、私、アメリカで育つたので、臓器提供などは常識的なこと。日本国内の移植医療は、眼球をはじめ臓器の提供がとて少ないと言われていることが不思議でした。主人も、使えるものは全部使つてほしいという気持ちでした。

癌だったので、残念なことに他の臓器は使えなかった。結局、角膜だけで。彼はドナーカードを、自分の財布にいつも入れていました。亡くなったとき、それを出して、主治医の先生にお見せしました。

**一** 〇〇八年の六月に亡くなったのですが、今も彼のことを考えない日はないくらい意識します。ここに彼の一部は、魂はいつも生きていて、しかも役に立つて

の余裕は全くなく、すごいパニックの中で、でも「お財布の中にドナーカードがあつたはず!!」いつも持ち歩いていたし、これは今やらなきゃ、いろいろな彼の意思を継ぐ第一歩だな」と思つたんです。カードのことは不思議と冷静に覚えていましたし、まずはその場でできること、大学病院に連絡してアイバンクに繋いでいただいて、二時間くらい待ちました。

## 献眼者のご尊名

(平成21年1月~12月)

故人の尊い御遺志と、御家族をはじめ関係者みなさまの御理解と御協力のおかげで角膜の障害に苦しめられているたくさんの方々が、光を取り戻すことができました。謹んで故人の御冥福をお祈り申し上げます。

- 神林 哲様
- 高橋 スツノ様
- 三上 克巳様
- 遠藤 育朗様
- 平間 ミサホ様
- 小野寺 公平様
- 岡田 和子様
- 桔梗 眞智子様
- 阿部 美佳様
- 他男性1名



御献眼いただきましたのに、御遺族に對しましては、厚生労働大臣より感謝状が贈呈され、お届けいたしました。

摘出手術をしたあと、義眼を入れていただいたら、笑つたような眼になつたんですよ。なんかこう優しい眼に。そのこと以外この日は何にも覚えていないんです。ドナーカードを肌身はなさなかつたということ、「あのカードにサインしたけど止めにしようや」なんてことは言わなかつたし、彼にとつてすごく大切なことなんだなと思つたから絶対に連絡しなきゃと思つました。おそらく他の臓器が使えなかつたのは残念がついてると思つけれど…。でも先生が角膜は大丈夫かもしれないから、とおつしやつてくださったのです。

**私** の個人的な考え方ですが、やっぱり人間つて、亡くなつたら無になりにたくないと思つて、少なくとも何かこういう形で残つて、しかも、困つていてる方の役に立てれば、それは生きてきた証拠じゃないかと思つてますよ。

作曲家にとつて、耳と眼がなによりも大切です。主人の角膜を移植された方に喜んで頂けて、本当に良かったと思つています。主人も喜んでると思つています。私もうれしかったです。

**最** 後の最後まで、病室にキーボードを持ち込んで作曲してたんですよ。でも「集中できない。それがすごくくやし」って言つてました。



本間 雅夫さん(1930~2008)プロフィール  
作曲家。青森県深浦生まれ。青森師範学校、日本大学芸術学部卒業。1954年第23回日本音楽コンクール作曲部門室内楽の部第1位。1974年、宮城教育大学に赴任。1994の定年まで勤め上げ多くの作品を発表。仙台の作曲家らと「音楽の現代と伝統の会(OGD)」を結成。仙台現代音楽祭や仙台アジア音楽祭の開催にも尽した。宮城県芸術選奨、宮城県教育文化功労賞、文部科学大臣地域文化功労者表彰、仙台市政功労者章、瑞宝小綬章を受賞。2007年に膀胱がんの転移が見つかり、入院しても創作意欲は衰えず、病室に五線紙を持ち込み、キーボードに向かつて。

人は、健康や、眼が見えることが当たり前存在していることに対して、ありがたさや感謝の心を忘れてしまいがちです。こういうお話を誰にでもできるわけじゃないですよ。ね。あまりにもなんていうのかな、パーソナルなことでも彼の強い意思がかなえられて良かったなと思つてます。

眼の不自由な方が一日も早く良くなれますことを心よりお祈りします。そして主人の体が生きていくことが私は本当にうれしいです。

いるかもしれないと思つと、すごく慰めになりますし、彼の死がいくぶん受け入れやすくなつたような気がしています。

**主** 人とは仙台で知り合いました。でも実は、本当の出会いはいもつと前で、彼に会う前に、彼の作品と出合つていんです。曲を聴いたとき「わー、この作曲家?」すごくいい曲! 私も弾いてみたいな。会つてお話ししてみたいなと思つて。あれは一九七八年だつたと思つてますが、そして、やつと会えたのがそれから2年後でした。そして、ずっとその作品を演奏し続けてきました。

ひとこととていうと、頑固なんですけど、非常に情にもろいんですよ。それから、正義感が強くて、ちょっと廻りが疲れるくらい。亡くなった日は、主人を失つたばかりで心

**世界初! 色覚補助レンズ カラービュー仙台ステーション 本館2F**  
「カラービュー」は最高品質の見えごちを追求した、世界初の色識別補助用プラスチックレンズです。

「専任スタッフ」によるカウンセリングを行いますので、お電話にてご来店日時をご予約を承っております。カラービュー仙台ステーションは、東北各県の皆様からご愛顧いただいております。

ご予約電話番号 TEL.022-262-0581

信頼 & 安心

**メガネの相沢 本館** 仙台駅前・南町通り[仙台市青葉区中央3-8-31] 契約駐車場完備  
TEL.022-262-0581 営業時間 10:00~20:00

うれしいNEWS  
ロービジョンコーナーも完備!  
メガネを掛けても見えにくい方のために、拡大読書器をはじめ、たくさん関連商品を取り揃えております。

去る2009年11月21日、宮城県医師会館で、「第1回東北大学アイバンクセミナー」が開催されました。これは、財団法人東北大学アイバンクが開く初のセミナーで、提供者確保に向け、理解と登録を呼び掛けました。「加齢に伴う身近な眼の病気や「角膜移植」、「アイバンク」の活動の現状「目のバリアフリー」など、講演内容を紹介します。さまざまな取り組みに学ぶことの多い2時間でした。



## TOHOKU EYE BANK 第1回東北大学アイバンクセミナー

- 開催日／平成21年11月21日(土) ●時間／13:00～15:00(開場 12:00)
- 開催場所／宮城県医師会館 5階大ホール
- 主催／財団法人東北大学アイバンク
- 座長／東北大学眼科教授 西田 幸二

### ①加齢に伴う身近な目の病気

●講師／東北大学視覚先端医療学准教授 中澤 徹

眼科を受診する患者さんの自覚症状には、目がかすむ、蚊が飛んでいる、目が乾く、涙が出る、充血したなど多彩であるが、その中でも「目がかすむ」という症状が最も頻度が高いです。また、頻度の多い目の病気には、白内障、緑内障、加齢黄斑変性症、ドライアイなどがあります。



白内障は、目の中の水晶体(レンズ)が白濁するため、視力が低下する病気です。70歳以上のほぼ90%の人が白内障になるといわれています。視力低下により生活に支障がある(車の免許など)際は手術が必要となります。手術により視力が回復する例が多いです。

緑内障は視神経が障害されることにより、視野が狭くなる病気です。一度失った視野は回復しないのが特徴です。70歳以上では10%の人が緑内障になり、その大半が眼科の診察を受けていないと考えられています。つまり、自覚症状の乏しい病気で、早期発見には検診が重要ということです。通常眼圧を目標薬で十分に下げることにより、進行を止める

ことが治療の目標です。

加齢黄斑変性症は、網膜(フィルム)の役目の中心部である黄斑部に、病気の新しい血管が出現し、見たいところが歪んだり、暗くなったりする症状が出現します。治療は病気の新しい血管を、レーザーで焼いたり薬で小さくしたりしますが、血管が大きくなり視力低下したまま時間が経つと、視力回復は難しくなります。

ドライアイは涙が少なくなり、目の表面が乾き、傷がつくことにより、ゴロゴロする病気で、涙の代わりに目薬で治療します。10秒間瞬きを我慢できなかったら要注意です。

こうして、目の異変を自覚した場合には、回復しない病気が潜んでいることがあります。早めの眼科専門医での診察を受けることをお勧めします。

### ②アイバンクの活動の現状

●講師／東北大学眼科助教 横倉 俊二  
角膜移植手術により、多くの方が視力を回復することができるようにも関わらず、わが国においては角膜の提供数が非常に少ないために、手術がなかなか行えない状況にあります。

宮城県でも同様の状況にあります。アイバンクは、以下のような活動を行っている非営利団体です。  
a、角膜提供の意思を表明していた患者さ

をよろしくお願ひ申し上げます。

### ③角膜移植ってどんな手術

●講師／東北大学眼科助教 久保田 享



角膜移植手術の歴史は長く、100年を超えたとされています。病気により濁った角膜を、提供された透明な角膜に交換し、視力を回復することが手術の目的です。角膜は5層構造をした臓器で、角膜全層を移植する手術がこれまで主に行われてきました。しかし、最近では悪い部分だけを取り除く、部分移植の技術が登場しています。患者さんへの侵襲が少なくなり、より回復の良い手術が提供できるようになってきました。しかし、提供角膜が少なく、特に宮城県でも多くの患者さんが、光を取り戻す日を待ちわびております。技術の進歩により、将来的には人工角膜の開発も期待されます。

### ④目のバリアフリー

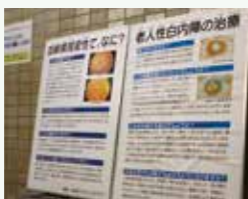
●講師／東北大学眼科医員 植松 恵

目のバリアフリーとは、目の不自由な方のバリア(支障のある状態)をできるだけ減らすことです。そのためには、目の不自由な方がど

んの死後取り出された角膜を、角膜移植手術が可能な施設(宮城県では東北大学病院)にあつせんすること  
b.一般市民の方に角膜移植の現状や角膜提供の方法等を伝えることで、少しでも角膜の提供が増えるようにする啓発活動を行うこと  
c.医療従事者の方に、お亡くなりになった方が角膜の提供を意志表示していた場合の対応方法について、院内セミナー等での講演を通じて理解を深めていただくこと  
アイバンクは戦後間もなく米国で誕生し、欧米では速やかに普及し角膜移植医療の普及に貢献しました。一方日本では法律が未整備であったために、20年近く遅れて徐々に各地にアイバンクがつけられるようになりまし。日本での角膜移植医療の普及には、岩手医大(当時)の今泉亀撤先生のたゆまぬ御努力がありました。



東北大学アイバンクは毎年約500万円程の運営費を必要としておりますが、これらは角膜あつせん手数料収入と寄付のみでまかなわれており、昨今財政的には非常に逼迫しておりアイバンクの存続が危ぶまれております。是非、皆様のご理解と、尊いご寄付



のように見えにくいのかを周囲の方が理解することがまず第一歩です。バリアを減らすものとして補助具、拡大読書器、点字などがあります。宮城県視覚障害者情報センターでは、点字図書や録音図書、デジジ図書貸し出しが行われています。その他、白杖や盲導犬の役割や、歩行介助のコツなどを紹介しました。



# 眼科のことなら

## 株式会社 日本眼科医療センター

### 各社眼科検査器械・手術用機器・器具・機材

TEL 022-374-2226 〒981-3134 仙台市泉区桂四丁目33番地の3  
FAX 022-374-2228 営業所／盛岡・郡山・山形

【仙台市内協力医療院】  
**青葉区**  
 あさひがおか眼科 阿部眼科 診療所、今井眼科 大橋眼科 眼科、おおくやまアイクリニック、小田眼科 鬼怒川眼科 木村眼科 小林眼科 笹森眼科、さど眼科 佐藤眼科 佐藤裕也眼科 馬場眼科 平成眼科 病院、むとう眼科 山本眼科 米地眼科 医院、わだゆうこ眼科クリニック  
**宮城野区**  
 岩切中央眼科、神尾眼科、仙台駅東口大槻眼科、タカシン眼科、みやぎの眼科  
**若林区**  
 佐瀬眼科 前川眼科 矢端眼科 わかばやし眼科  
**太白区**  
 志賀眼科、高瀬眼科 徳永眼科 西多賀眼科 院、長谷川眼科 医院  
**泉区**  
 いずみクリニック、菊地眼科 医院、シオノ眼科、たけだ眼科、針生眼科 町田眼科 医院、南中山眼科クリニック、山田孝彦眼科  
**仙南エリア**  
 浅野眼科 油井眼科 院、いのまた眼科、大槻眼科 院、大沼眼科 水戸眼科 院、八木沼眼科クリニック

**名取・岩沼・塩釜エリア**  
 浅野みつや眼科 板橋眼科 医院、氏家眼科 院、かとう眼科 鈴木眼科 院、鈴村眼科、多賀城眼科、沼崎小児科眼科クリニック、松永眼科、宮町脳神経眼科クリニック、やすい眼科、わく沢眼科 渡辺眼科 巨理眼科 院、わたりに眼科  
**大崎エリア**  
 一迫眼科、かしまだい中央眼科、菅野眼科 院、熊谷眼科、つのだ眼科、野崎内科胃腸科、古川中央眼科、星眼科 院  
**栗原・登米エリア**  
 あさの眼科 院、佐藤進眼科、三浦眼科 院、ごとう眼科、みうら眼科 院  
**石巻エリア**  
 大街道眼科 院、佐久間眼科 小児科 院、菅原眼科 院、田中眼科、なががわ眼科、ものう眼科クリニック  
**気仙沼エリア**  
 小林直樹眼科、武田眼科 院  
**県外**  
 マルイ眼科(福島県)、山田眼科 院(秋田県)  
**【仙台市内協力病院】**  
**青葉区**  
 JR 仙台病院、仙台通信病院、仙台厚生病院、仙台社会保険病院、東北公済病院、東北労災病院

**宮城野区**  
 仙台医療センター、仙台東脳神経外科 院、東北厚生年金病院  
**若林区**  
 NTT 東日本東北病院、仙台市立病院  
**太白区**  
 広南病院、仙台赤十字病院  
**泉区**  
 仙台徳洲会病院  
**【仙台市外協力病院】**  
**仙南エリア**  
 公立刈田総合病院、みやぎ県南中核病院  
**名取・塩釜エリア**  
 公立黒川病院、塩竈市立病院、仙塩総合病院、松島病院、宮城県立ガンセンター、坂総合病院  
**大崎エリア**  
 永仁会病院、大崎市民病院、大崎市民病院岩出山分院、大崎市民病院鳴子分院、涌谷町国民健康保険病院  
**栗原・登米エリア**  
 栗原市立栗駒病院、栗原市立栗原中央病院、登米市立立沼病院  
**石巻エリア**  
 石巻赤十字病院、石巻市立病院、女川町病院、仙石病院  
**気仙沼エリア**  
 気仙沼市立病院、公立志津川病院  
**県外**  
 公立相馬総合病院(福島)

県、山形市立病院 済生館(山形県)  
**【協力企業・協力団体】**  
 宮城トヨタ自動車(株)、(株)メガネの相沢(社)日本眼鏡技術者協会宮城支部(財)宮城県対がん協会(株)トラスコムメディカル(株)セルシード(株)日本点眼薬研究所 仙台営業所(株)ユニハイ ト仙台営業所(株)トブコムメディカルジャパン、HOYA(株)メディカル事業部東北営業所、エイエムオー・ジャパン(株)仙台営業所、サージュカル事業部(株)日本眼科医療センター、参天製薬(株)仙台医療チーム、カールツァイスメディテック(株)仙台営業所、日本アルコン(株)仙台支店、ノバルティスファーマ(株)眼科事業部、ファイザー(株)、興和創薬(株)仙台学術課、わかもと製薬(株)仙台営業所、萬有製薬(株)研究開発本部、メディカル部門、大塚製薬(株)、(株)シバタインテック、(株)日立プラントテクノロジ東北支社、宮城県眼科医会、仙台市眼科医会、仙台市医師会、宮城県医師会、(株)アイルテック、ウエノ(株)水晶堂眼鏡店(株)セイミ、(株)日本点眼薬研究所、仙台和光純薬株式会社(株)ソノベ、田辺三菱製薬(株)東北支店

宮城第一営業所  
**【協力会員(個人)】**  
 青木 恵一、朝野 勝子、浅井千代子、阿部 昭夫、阿部 純子、阿部 保男、阿部 吉男、荒井 一雄、安藤 厚子、伊賀 雅博、五十嵐 明文、石井 里美、石垣 るり子、石川 文央、石田 滋子、石山 敬子、和泉 信雄、伊藤 寿美子、伊藤 規雄、岩佐 典子、上西 則子、江崎 範光、江村 政紀、遠藤 亨、遠藤 敏、遠藤 誠、遠藤 律子、及川 榮久、及川 京子、扇 要仁、太田 忠則、大友 幸子、大場 直美、大橋 香澄、大橋 理恵、大村 守、岡 善男、小笠原 喜美子、尾形 隆志、尾形 なる子、小田嶋 テル子、嘉数 研二、角田 淳一、笠島 ハマ子、笠原 種夫、笠原 康弘、加藤 静子、加藤 俊和、加藤 美智子、S.K、金子 弘志、金子 祐一、金田 光司、鹿野 壽悦、鎌田 茂、加美山 正義、亀谷 恵美子、加茂 エミ、菅野 芳男、北田 大宜、木村 亨、工藤 隆資、栗田 綾子、車塚 和子、黒沢 健一、郷家 ふぢよ、後藤 清、後藤 政志、小沼 シゲ子、小林 慶子、小東 貴、小松 国枝、小室 敏、小山 厚子、山敏子、小山 正之進、小山 正彦、小山 ミヨ、西條 和夫、齋藤 順子、齋藤 裕、佐々木 久子、佐々木 秀治、佐々木 正美、佐々木 あおい、佐々木 みつ子、佐々木 れい子、佐藤 昭男、佐藤 英美子、佐藤 京子、佐藤 京子、佐藤 卓生、佐藤 秀子、佐藤 弘、佐藤 善、佐藤 やえ子、佐藤 義明、三瓶 清三、瓶 千絵、三瓶 春美、下山 正信、庄司 つとせ、白澤 徹、菅原 育子、菅原 一浩、菅原 京子、菅原 誠一郎、菅原 史子、菅原 みさき、菅原 裕子、菅原 裕子、鈴木 昭子、鈴木 巖、鈴木 剛、鈴木 せつ子、瀬ノ上好子、曾根 美代子、高野 茂夫、高橋 耕一、武田 忠雄、武山 利子、丹野 輝英、千葉 直美、手代木 禎子、寺田 勝戸、田 俊博、中井 格、永浦 富士夫、中村 和之、並木 恒夫、成毛 祥代、成毛 令子、南 昭彦、新妻 敏雄、西原 貞淑、野田 百合子、芳賀 壽子、八文字 積子、八文字 惣一、羽田 悦子、羽田 兵一、原 信夫、半田 仁、東瀬 寿美子、藤谷 廣司、富士原 明美、星 毅、堀木 静香、堀越 満里子、本郷 貴代子、松浦 義人、三浦 美智子、三神 徹、水戸 輝男、三戸 部孝治、村上 恵久子、村上 冨子、目黒 正見、本宮 恵樹、森 巖、森 幸子、森澤 舞、山口 徳子、山崎 秀子、山田 明美、山本 峰聖、行方 友男、遊佐 昌子、渡辺 雄一

つ子、佐々木 れい子、佐藤 昭男、佐藤 英美子、佐藤 京子、佐藤 京子、佐藤 卓生、佐藤 秀子、佐藤 弘、佐藤 善、佐藤 やえ子、佐藤 義明、三瓶 清三、瓶 千絵、三瓶 春美、下山 正信、庄司 つとせ、白澤 徹、菅原 育子、菅原 一浩、菅原 京子、菅原 誠一郎、菅原 史子、菅原 みさき、菅原 裕子、菅原 裕子、鈴木 昭子、鈴木 巖、鈴木 剛、鈴木 せつ子、瀬ノ上好子、曾根 美代子、高野 茂夫、高橋 耕一、武田 忠雄、武山 利子、丹野 輝英、千葉 直美、手代木 禎子、寺田 勝戸、田 俊博、中井 格、永浦 富士夫、中村 和之、並木 恒夫、成毛 祥代、成毛 令子、南 昭彦、新妻 敏雄、西原 貞淑、野田 百合子、芳賀 壽子、八文字 積子、八文字 惣一、羽田 悦子、羽田 兵一、原 信夫、半田 仁、東瀬 寿美子、藤谷 廣司、富士原 明美、星 毅、堀木 静香、堀越 満里子、本郷 貴代子、松浦 義人、三浦 美智子、三神 徹、水戸 輝男、三戸 部孝治、村上 恵久子、村上 冨子、目黒 正見、本宮 恵樹、森 巖、森 幸子、森澤 舞、山口 徳子、山崎 秀子、山田 明美、山本 峰聖、行方 友男、遊佐 昌子、渡辺 雄一  
 ほか一五四名 計三二五名 (順不同)

## ■平成20年度 東北大学アイバンク活動報告

**平成20年** ◆は場所  
 4月21日 ●ライオンズクラブキャビネット事務局主催「セミナー・パネルディスカッション」\*「3バンク・臍帯血バンク及び献血活動の活動状況」◆エルソーラ仙台  
 4月27日 ●仙台エコライオンズクラブ主催「45周年記念式典・祝宴」◆江陽 グランドホテル  
 5月 9日 ●第39回北海道・東北地区広域活動連絡会◆秋田/秋田ビューホテル  
 6月 9日 ●東北大学病院移植医療部ミーティング◆東北大学病院移植医療部  
 6月23日 ●平成20年度前期(財)東北大学アイバンク理事会◆東北大学医学部良陵会館◆平成20年度前期(財)東北大学アイバンク評議員会◆東北大学医学部良陵会館  
 7月 4日 ●第8回東北大学アイバンク慰霊祭実行委員会(1)◆東北大学医学部良陵会館  
 7月 9日 ●宮城県腎臓協会ミーティング◆宮城県腎臓協会  
 7月11日 ●東北大学病院移植医療部主催「第7回臓器移植医療部講演会」\*「救命救急医療を全うすること」◆東北大学医学部臨床小講堂  
 7月25日 ●宮城県腎臓協会主催「第10回院内臓器移植コーディネーター研修会」\*「組織移植について」◆宮城県庁庁舎  
 7月25日 ●日本アイバンク協会評議員会 第40回北海道・東北地区広域活動連絡会 第31回全国アイバンク連絡協議会◆東京/東京国際フォーラム  
 7月26日 ●日本アイバンク協会主催「第18回アイバンクワークショップセミナー」\*「眼科疾患について」\*「アイバンクテキスト作成について」◆東京/東京国際フォーラム

## ■平成20年度 東北大学アイバンク財務報告

### 1. 平成20年度運用財産収支決算

収入の部	科目	金額(円)	摘要
収入の部	基本財産運用収入	46,960	基本財産利息
	寄付金収入	4,105,000	ライオンズクラブ他
	協力会員会費収入	3,020,000	協力企業/団体23件 協力医院/病院116件 協力会員(個人)313件
	角膜斡旋手数料	2,250,000	16件
	補助金収入	47,245	日本アイバンク協会
	雑収入	462,426	運用財産利息・会報広告掲載料
	繰越金	5,343,461	平成19年度より繰越
	<b>合計</b>	<b>15,275,092</b>	

### 2. 平成20年度財産目録

資産の部	金額(円)	負債の部	金額(円)
現金預金	5,732,532	預り金・未払金	55,473
棚卸品	209,543	<b>負債合計</b>	<b>55,473</b>
基本財産	28,400,000		
固定資産	253,231		
<b>資産合計</b>	<b>34,595,306</b>	<b>正味財産</b>	<b>34,539,833</b>

8月 4日 ●東京大学医学部付属病院組織バンク主催「組織提供に関する反省会」◆東北大学病院手術室ラウンジ  
 9月 3日 ●宮城県腎臓協会主催「臓器移植普及推進キャンペーン打合せ会議」◆キリンファーマ(株)会議室  
 9月 9日 ●第8回東北大学アイバンク慰霊祭実行委員会(2)◆東北大学医学部良陵会館  
 9月10日 ●宮城県腎臓協会ミーティング◆宮城県腎臓協会  
 9月13日～15日 ●宮城県眼科医会主催「目で見える眼のすべて展」◆仙台三越  
 9月 28日 ●宮城県腎臓協会主催「平成20年度秋期臓器移植普及推進キャンペーン」◆陸上自衛隊霞目駐屯地  
 10月15日 ●第8回東北大学アイバンク慰霊祭◆東北大学医学部良陵会館  
 11月28日 ●宮城県腎臓協会主催「第11回院内臓器移植コーディネーター研修会」\*「宮城県防災ヘリコプターについて」◆宮城県庁庁舎  
 12月 7日 ●杜の都市民環境教育学習推進会議主催「環境フォーラムせんだい2008」◆せんだいメディアテーク

### 平成21年

3月 2日 ●平成20年度後期(財)東北大学アイバンク理事会◆仙台市産業情報館◆平成20年度後期(財)東北大学アイバンク評議員会◆東北大学医学部良陵会館  
 3月 6日 ●日本アイバンク協会評議員会◆東京/学士会館  
 3月11日 ●東北大学病院移植医療部ミーティング◆東北大学病院移植医療部  
 3月13日 ●宮城県腎臓協会主催「第12回院内臓器移植コーディネーター研修会」\*「救急医療における脳死患者の対応セミナーに参加して」◆宮城県庁庁舎  
 3月26日 ●東北大学眼科主催「拡大症例検討会」\*「東北大学アイバンクの現状と支援のお願い」◆東北大学医学部第一講義室

### 支出の部

支出の部	科目	金額(円)	摘要
支出の部	事業費	4,611,219	登録普及費 3,226,194円 斡旋事業費 674,510円 アイバンク協会費 43,000円 祭祀費 667,515円
	管理費	4,586,814	人件費 3,339,302円 通信運搬費 198,200円 旅費交通費 334,370円 事務用品費 266,917円 その他 448,025円
	基本財産戻入準備金	400,000	
	予備費	0	
	繰越金	5,677,059	平成21年度へ繰越
	<b>合計</b>	<b>15,275,092</b>	



**Pfizer** Working together for a healthier world™  
より健康な世界の実現のために

日本で最も信頼され、最も価値あるヘルスケア企業になりたい。

ファイザーは「新薬」に世界最大の研究開発費を投じています。  
高血圧症、がん等、多くの病気、そして、治療薬に恵まれない病に打ち勝つためには「新しい薬」が必要だからです。  
※ 世界企業のR&D投資額ランキング(2008年 欧州委員会まとめ)

ファイザー株式会社 www.pfizer.co.jp

**Santen**

参天製薬は、眼科とリウマチ/骨・関節疾患領域に特化した  
独自性ある医薬品企業として、人々の目とからだの健康維持・  
増進に貢献しています。

ひと・ひとみ・すこやか。  
**参天製薬株式会社**  
本社 大阪市東淀川区新庄3丁目9番10号  
TEL 06(6321)7000  
http://www.santen.co.jp/

財団法人東北大学アイバンク 顧問・理事及び評議員  
平成21年12月1日現在

- 【顧問】  
村井嘉浩 宮城県知事  
一力 一夫 河北新聞社 取締役会長  
務台猛雄 宮城テレビ放送 代表取締役社長  
高橋宏明 東北電力株式会社 代表取締役社長  
鎌田 宏 七十七銀行 代表取締役頭取  
玉井 信 仙台市病院事業管理者  
井上明久 東北大学 総長
- 【理事】  
西田幸二 理事長／東北大学視覚科学分野教授  
佐々木淳 宮城県保健福祉部次長  
上田昌孝 仙台市健康福祉局局長  
伊東潤造 宮城県医師会会長  
山田明之 仙台市医師会会長  
奥山茂美 宮城県眼科医会会長  
相澤博彦 (株)メガネの相沢 取締役社長  
馬場武雄 ライオンズクラブ／(株)ビーエスエックノ 取締役会長  
渡部市郎 ライオンズクラブ／(有)渡部市郎会計事務所  
田畑英伍 ライオンズクラブ／(有)田畑会計事務所  
布施昇男 東北大学視覚科学分野 准教授  
中澤 徹 東北大学視覚先端医療学分野 准教授  
横倉俊二 東北大学視覚科学分野  
久保田享 東北大学視覚科学分野
- 【監事】  
佐藤裕也 佐藤裕也眼科医院  
志賀信夫 志賀眼科
- 【評議員】  
中沢 幸男(前宮城県議会議員)／久道 茂(宮城県対がん協会会長)／三浦 幸雄(東北労災病院院長)／松井 邦昭(JRC仙台病院院長)／菊地 秀(仙台医療センター 院長)／桃野 哲(仙台赤十字病院院長)／内藤 広郎(みやぎ県南中核病院院長)／今田 隆一(坂総合病院院長)／小野寺 幸男(大崎市民病院岩出山分院院長)／石井 宗彦(登米市立登米病院院長)／飯沼 一宇(石巻赤十字病院院長)／遠藤 涉(気仙沼市立病院院長)／今井 克彦(今井眼科医院)／前川 暢男(前川眼科)／宮城県立盲学校 校長／キャビネット事務局ガバナー／仙台ライオンズクラブ／仙台中央ライオンズクラブ／仙台エコーライオンズクラブ／仙台広瀬ライオンズクラブ／仙台エイトライオンズクラブ／仙台キワニズクラブ


「ピギーちゃん募金」のご協力をお願いいたします。

宮城県眼科医会と東北大学アイバンクでは、参天製薬様のご協力のもと「ピギーちゃん募金」を行っております。

県民の皆様へアイバンクの活動を広くご理解いただくことを目的に、募金箱とポスターを制作し、アイバンク協力医院へ配布・設置していただいております。目印は子豚の「ピギーちゃん」です。お見かけの際はぜひ募金のご協力をお願いいたします。

アイバンク協力医院のみさまへ

募金箱設置にご協力いただいております眼科医院の皆様には心から感謝申し上げます。今後とも引き続きご支援いただきますようお願いいたします。



～「アイ愛」編集後記～

東北大学アイバンク会報である「東北大学アイバンクだより」の第2号が完成しました。東北大学アイバンク設立の歴史に始まり、アイバンク理事長である西田教授より現在のアイバンク事情、受眼者、献眼者ご遺族からの声も頂き、内容も充実したものになっております。更に今年は、提供者確保に向け、アイバンクへの理解と登録を呼びかける「第1回東北大学アイバンクセミナー」を初めて開催しました。本誌にその講演内容と様子がまとめられております。昨年度に比べ、今年度は協力会員や眼球提供も増え、我々地域のボランティア団体としてのアイバンクが少しずつ浸透している実感を覚えます。大変感謝申し上げますとともに、引き続きよろしくお願ひ申し上げます。

東北大学アイバンク理事 東北大学視覚先端医療学分野准教授 中澤 徹

この印刷物は、グリーン基準に適合した印刷資材を使用して、グリーンプリンティング認定工場が印刷した環境配慮製品です。  
P-B10054

- 【ご注意】
- ・この用紙は、機械で処理しますので、金額を記入する際は、枠内にはっきりと記入してください。
  - ・また、本票を汚したり、折り曲げたりしないでください。
  - ・この用紙は、ゆうちょ銀行又は郵便局の払込機能付ATMでもご利用いただけます。
  - ・この払込書を、ゆうちょ銀行又は郵便局の渉外員にお預けになるときは、引換えに預り証を必ずお受け取りください。
  - ・ご依頼人様からご提出いただきました払込書に記載されたおとこ、おなまえ等は、加入者様に通知されます。
  - ・この受領証は、払込みの証拠となるものですから大切に保管してください。

収入印紙  
3万円以上  
貼付  
印

この場所には、何も記載しないでください。

視覚は私たちの未来です。  
Vision is Our Future.

目薬といえば誰もが思い浮かべる、一押しで正確な量の薬が点眼できるプラスチック製の点眼薬ボトルは、米国アルコン本社が50年前に開発したものです。

日本アルコンは、世界180以上の地域に眼科製品を提供するアルコン・インコーポレーテッドの日本法人として、35年以上にわたり日本の医療現場に、革新的で高品質な眼科用医薬品、眼科用サージカル製品、コンタクトレンズケア用品をお届けしています。

私たちが眼を通して得る世界が美しく、かけがえのないものだからこそ、視力の低下を抑え、すこやかに視る力を守りたい。見る、見える幸福を支えていきたい。

日本アルコンはトータル・アイケア・カンパニーとして、一人ひとりの大切な眼の健康のために活動していきます。

**Alcon** www.alcon.co.jp 日本アルコン株式会社  
東京都港区赤坂2丁目17-7 赤坂深田タワー